



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年2月8日(土)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

29

令和6年度「八高学びの祭典」で、次の話をしました。

今、私たちは「厳しい挑戦の時代」を生きています。

国内では人の命や尊厳を軽んじているかのような事件が報道され、世界に目を転ずると、地球上に存在する根深い「分断」が戦争や紛争というかたちで顕在化し、明るい未来を思い描くことが難しいように感じてしまうできごとがあまりにも多い現状があります。

しかし、この時代を生きる私たちこそが、年齢や立場にかかわらず、人の幸福とは何かを問い続けてこそ明るい未来を創造することができます。個人や社会にとっての「質的な豊かさ」とは、「家族や仲間、そして多様な人々との間に結ぶ信頼関係」これをおいて他にはありません。

なるほど世の中では「価値観が多様化している」と言われます。確かに、人が何を大切にしたいと考えるか、これは時代によって移り変わるという側面はあるのかもしれませんが、しかし、そもそも人が人として大切にすべき価値そのものは、それを大切だと思ふ人がいる、思わない人がいる、どちらの人数が多いか、といったことに、決して左右されるものではない、ということに気づきます。

共感と共創の時代にあって、「八高学びの祭典」が未来への扉を開くきっかけになることを強く信じています。